

なんのようちゅう vol. 4

サナギになったツマグロヒョウモンが、次々と羽化しています。

A 児

せんせい!ち!ちがでてる!

B 児

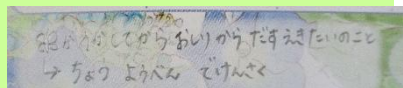
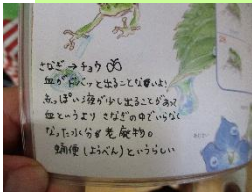
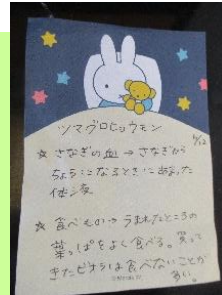
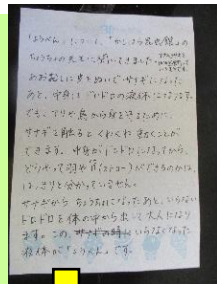
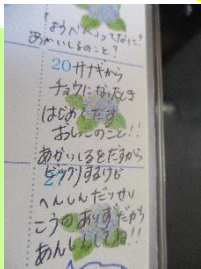
ほんとうだ!ち!ポタってたれた!



＼どンドン湧き出る自然の不思議／

- ・ ツマグロヒョウモンのどこから出ているの?
- ・ 本当に「血」?

さあ、再び探求開始です。
お家の人と一緒に調べてみよう!



なんと!昆虫館のチョウチョの先生に聞いてきてくれました!
あおむしはサナギになったあと、中はドロドロの液体になります。でも、アリや鳥から身を守るためにサナギを触るとくねくね動くことができます。中身がドロドロになってからどうやって羽や口ができるのかははっきりと分かっていません。
サナギからチョウチョになったあと、いらないドロドロを体の中から出してチョウチョになります。このいらなくなったものが「ようべん」です。

以前、調べてきてくれたお友達がいました!本当だったんだ!

水をかけたとき動いた訳が解明!

子ども達の声に耳を傾け、一緒に研究☆を進めてくださりありがとうございます!
これから何度となくおとずれるこどもたちの「なんでだろう」の解明につながることでしよう☆

